

東京 PCB 廃棄物処理施設における廃水の流出事故について

平成 18 年 3 月 28 日に、当社の東京 PCB 処理施設において、微量の PCB を含む廃水の一部が流出する事故を発生させてしまいました。多大なる御心配、御迷惑をおかけいたしました皆様方に心からお詫び申し上げます。

流出した廃水のほとんどは、敷地内の芝生に浸透していると思われ、敷地内の雨水ますの測定結果や、緊急措置を講じたことにより、施設周辺の環境への特段の影響はないものと思われまます。二度とこのような事故を起こさないよう、万全の対策を講じてまいります。

1. 流出事故の内容

平成 18 年 3 月 28 日午前 5 時 20 分頃、当社（以下、「JESCO」といいます。）東京 PCB 廃棄物処理施設の敷地内仮設保管タンクから、微量 PCB を含んだ廃水 18m³(推計)が、敷地内の芝生側に流出するという事故が発生いたしました。その一部は直近の敷地内雨水ます(駐車場側)に流出いたしました。流出した雨水ますからの採水を分析した結果、PCB 濃度は 0.0041mg/L (東京都分析値)であり、水質汚濁防止法の排水基準(0.003 mg/L)を超える濃度が検出されました。なお、海域への放流口近傍の雨水ますからは未検出でした。

2. 流出事故の主な原因

- ・ PCB 廃液の粘度が高いため、処理の過程で攪拌が不均一になったことなどにより、廃液処理が追いつかなくなり、施設内の処理廃水回収タンクの容量を超過し満水状態となりました。
- ・ PCB 濃度 0.03 mg/L 以下のものについて、PCB 廃棄物ではなく廃アルカリとして屋外に貯留することができると判断し、施設の設置許可では認められていませんが、代替措置として、屋外の一時貯留タンク(仮設)へ送水しました。
- ・ 一時貯留タンクへの送水作業に当たっては、監視カメラにより遠隔監視しておりましたが、タンク上部からのオーバーフローを見逃したことにより、廃水をタンク外に流出させました。

3. 事故当日の緊急措置

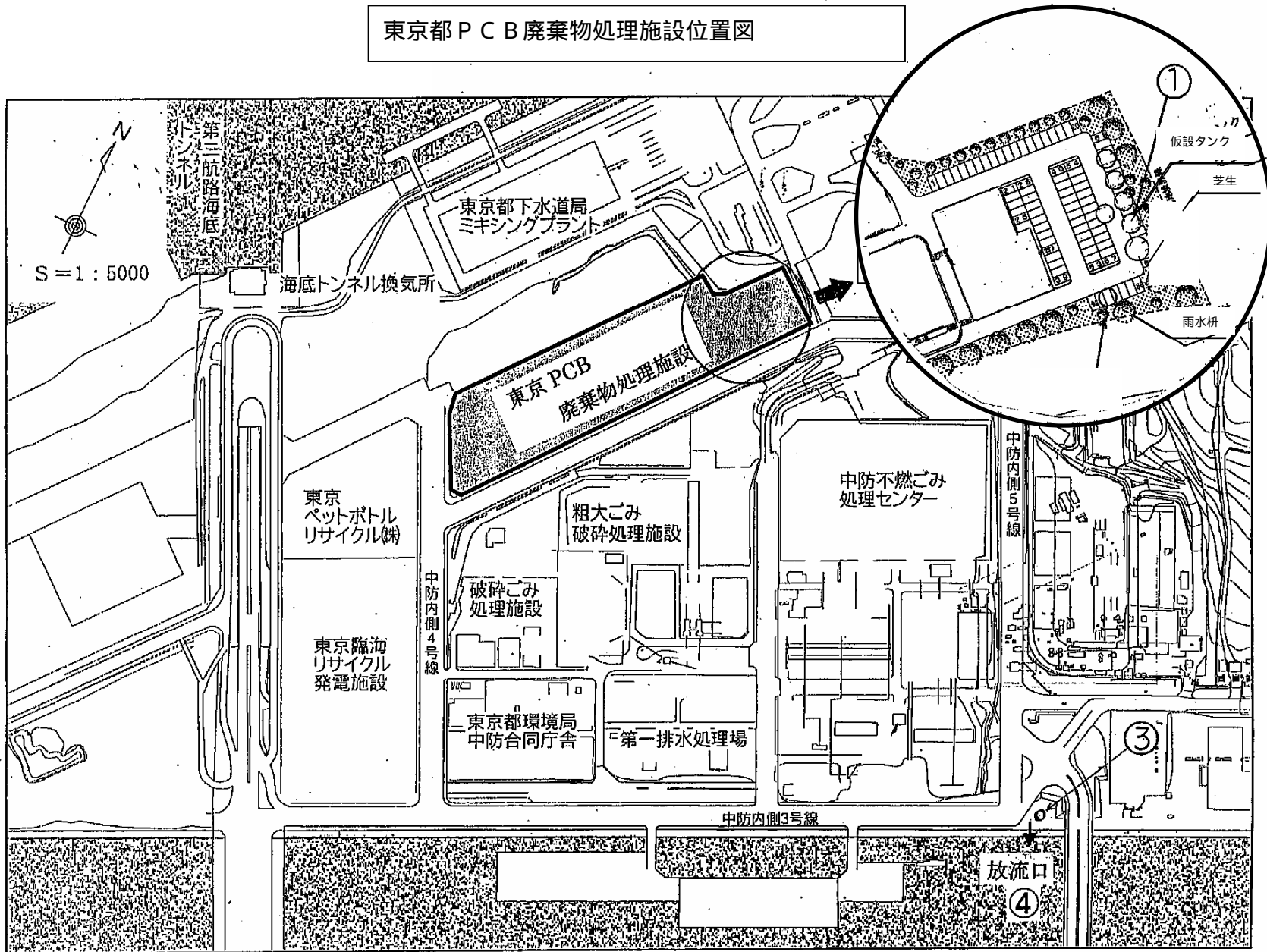
廃水の流出が判明した後、JESCO では、東京都及び江東区の指示を受け、以下の措置を緊急的に実施しました。

- ・ 施設の稼働停止
- ・ 雨水側溝に廃水が流入しないよう土嚢を設置
- ・ 雨水ますに残留していた廃水及び洗浄液を回収
- ・ 周辺舗装面及び雨水側溝の洗浄
- ・ 周辺舗装面及び芝生に雨水よけシートを敷設
- ・ 仮設タンク上面にシートを敷設

4 . 今後の対応

JESCO では今回の事故を深く反省し、社内に、外部の専門家を含めた事故対策委員会を設置して、事故原因を徹底的に究明しているところです。あわせて、施設の安全の総点検、全体的な管理体制の見直し等を進めるとともに、皆様方のご理解とご協力をいただきながら、今後の対応について東京都及び江東区と協議させていただき、安全かつ確実なPCB廃棄物の処理に努めてまいります。

東京都PCB廃棄物処理施設位置図



1 . オーバーフローした仮設タンク(右手前)と芝生側
(3月28日午後5時30分)



2 . 敷地内最終雨水ます (測定場所 : 4月3日午前9時)



3 . 放流口直近の雨水ます（測定場所 : 3月28日午後7時）



4 . 放流口（測定場所 : 事故前）



5 . アスファルト面清掃作業 (3 月 28 日午後 5 時)



分析区分	測定場所	簡易分析	
		採取日時	測定値
水 質	№ . 4 仮設タンク内	3/28 6:10	0.0117 mg/L
	敷地内最終雨水ます	3/28 10:00	0.0084 mg/L
	放流口直近の雨水ます	3/28 19:00	不検出
	放流口直下の海水	3/28 10:20	不検出
土 壤	敷地内最終雨水ます底質	3/28 9:45	不検出
	表層土壌	3/28 10:45	不検出
	土壌分析	4/7 採取	

東京 P C B 処理施設での廃水流出に伴う水質等の分析状況 (P C B)

分析は簡易分析による

不検出とは、0.0005mg/L 以下

排出基準 (水質汚濁防止法) 0.003mg/L 以下

東京都分析値 0.0041mg/L (公定法)